

英語科学習指導案

指導者 山崎 健志

1. 日時 平成17年 8月31日(水) 2校時
2. 学級 3年 1組 男子16名 女子17名 合計33名 南校舎2階
3. 主題 NEW HORIZON English Course book 3 Reading Plus 1 『A Mother's Lullaby』
4. 主題について

A Mother's Lullaby はH5年から採用されている優れた平和教材であり、感動的な物語教材である。戦後60年を迎えた今年、様々なメディアで戦争やそれにまつわるエピソードが取り上げられた。我々は、人と人が争い尊い命が失われる悲惨な事実があったことを忘れてはならない。「戦後」という言葉はない」と語った遺族の方がいる。戦争を過去のこととして、風化させてはならない。本教材は心温まる情景としての子守歌と、悲惨な状況での悲しい子守歌との対立、そしてその悲惨な状況の中で繰り広げられる、うら若い娘の美しい行為と、その行為の美しさも悲しいものになってしまう戦争の残忍さが主題となっている。作者の平和への願いを読み取ることで、人間のあり方や平和の尊さについて考えることのできるすばらしい作品であると考え。

生徒は授業やテストなどで英問英答に取り組んできた。対話の能力や読み取りのポイントを押さえる力を育むためにも、英問英答は有効である。しかし、英語での授業に苦手意識のある生徒やWH疑問文への習熟が十分ではない生徒もあり、問われていることがらだけでなく、主語を備えた文で答える(話す・書く)練習には今後も継続して取り組んでいく必要がある。練習としての英問英答の積み上げと、まとまった英文や物語を読むことで興味関心を持ちながら、実際の使用場面での英語にふれさせていきたい。

事前に時代背景について生徒に質問してみたところ、広島に原爆が投下された月日を知っていた生徒は20人で、わからないという生徒は10人であった(欠席3名)。終戦の月日を知っていた生徒も20人であった。中には戦争について、また原爆の被害について詳しく知っている生徒も数名いた。

英語の読む力の最終目標は、書かれた英語をそのまま理解できることであろう。本教材は語り手である「木」の気持ちや、登場人物の気持ちを考える読み取り教材ある。英語を使って、えがかれたできごとやできごとの展開を確認しながら、ひとつの場面のイメージを作りあげたり、作品がさしだす主題や理想を捉える力をつけたい。これまでに学習した英語の語彙や文法の、実際の使用のあり方を具体的に体験させ、蓄積し、実践的運用の方向付けを目指していきたい。また、英文の内容把握ができたあとは、登場人物や「木」の気持ちを伝えたり、場面を考えたり、主題と願いを表現したり生徒自身がかみしめるための音読をさせてまとめていきたい。

5. 指導と評価の計画(別紙)

6. 本時の達成目標

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	本文の意味に興味を持って掴もうとし、本文の読み取りや読み取ったことを英語でまとめようとする。
表現の能力	本文を読み、本時の学習課題に英語で答えることができる。
理解の理解	英問英答を通して読み取ったことがらを基に、場面や状況、心情を考え日本語で説明できる。
言語や文化についての知識・理解	既習事項の表現を理解し、内容理解に役立てることができる。

7. 本時の指導の構想

(1) 指導構想及び留意点

本単元では、作品の持つ場面の状況や登場人物の心情、主題である平和への願いなどをぜひ読み取らせたい。作品に触れることで、歴史的な事実や戦争と平和について生徒が考える一助になればいいと思う。導入時には、読み取りをより深いものとするために、背景となる当時の状況に関わる情報を与えた。本時では、その学習を基に既習事項をよりどころとしながら、英問英答でことがらを読み取らせたい。文のことがら、つながり、段落のことがらや形象をとらえられるような発問を工夫したい。

前時は第3段落までの読み取りを行った。本時では前時のあらすじを確認、本文を聞き取った後、本時の目標である「木」の思いと「人々」の思いを読み取らせていきたい。生徒一人一人ができるだけ多く英文を読む授業にしたいと考える。

(2) かかわりあい生かす手だてについて

テーマやストーリーがしっかりとした本教材は、読み取りの言語活動きる力を育てていきたい。導入で行った本教材の背景となる戦時中の状況及び広島に原爆が投下されたことについての学習を基に、本時の読み取り(表現・心情)を進めていきたいと考える。

えがかれたことがらを英問英答で読み取ることで、既習事項をよりどころに日本語訳に頼ることなく本文を読み進めることができると思う。また、英問の答えを考えるには、必然的に集中して本文を何度も読むことになる。そのことで教材自体との関わりを多く持たせることができると思う。さらに、できごとの展開や形象を読み取る部分では、日本語を使いながら互いの考えを交流させることで関わり合いを持たせ、場面のイメージをつくらせたり心情を考察させたい。

<A>達成度 学習速度 <C>取り組み方(学習の仕方)
 <D>見方・考え方 <E>興味・関心 <F>生活経験

8. 本時の展開

段階	過程	時間	学習活動	評価の視点・方法	指導上の留意点	教材・教具
導入	課題作り	10分	1. 前時のあらすじを確認する。 2. 学習課題を把握する。 英語で質問に答えよう。 1. What did the tree want to do? 2. How did the people feel under the tree?		1. 前時の学習が想起できるよう日本語も使いながら行う。	PC 紙板書
展開	課題追求	30分	3. 本文を聞く 4. テキストの内容を把握する。 5. 本時の学習課題を書いてまとめる。 6. 書いた文を発表する。	4. テキストの具体的なことがらを英語・日本語で答えることができたか。 G1 英語の質問に英語(文)で答え、ことがらや形象を読み取ることができる。 G2 英語の質問を聞き答えとなることがらを答えることができる。 G3 日本語を頼りにことがらを読み取らせ形象を考えさせる。 5. 問われていることを考え、英語で答えることができるか。 (机間巡視 道しるべの記入) G1 「木」や「人々」の思いを読み取って、自分の考えを英文で書くことができる。 G2 質問の答えを英語で書くことができる。 G3 個別に援助しながら考えをまとめさせてできるだけ英語で表現させる。	3. 教科書をよく見ながら本文を目で追わせる。 4. テキストの本文が英語で場面をとらえるためのよりどころとなるので、必要に応じて、段落及び文を読ませる。 <A> WH疑問文の意味を確かめさせたり、ことがらだけから文で答えさせるようにしたい。 <C> 5. 英語で文を書くことに苦手意識のある生徒には、個別に支援する。 <D> 6. 互いに書いたことを交流することで内容理解を深める。 (班体制)	CD 紙板書 道しるべ 模造紙
終末	まとめ	10分	8. 今日の学習を振り返る。 8. 次時の見通しを持つ。		7. プリントの読み取りのポイントを記入する。 8. 次時は表現読み(音読)をすることを伝える。	学習プリント

3年 英語		単元(題材)名 A Mother's Lullaby			総時間 10時間扱い		
<p>学習指導要領の指導事項</p> <p>C(読むこと)</p> <p>イ 書かれた内容を考えながら黙読したり、その内容が表現されるように音読すること。</p> <p>ウ 物語や説明文などのあらすじや大切な部分を読み取ること。</p> <p>D(書くこと)</p> <p>イ 聞いたり読んだりしたことについてメモを取ったり、感想や意見などを書いたりすること。</p>							
単元の目標		主な学習活動	評価規準	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	言語や文化についての知識・理解
<p>* 物語の背景となる歴史的事実を知り、戦争と平和について考える。</p> <p>* 今まで学習してきた知識や技能を用いて、まとまりのある英文を読み、場面の变化や登場人物の心情などを読み取ることができる。</p>		<p>* 既習事項を基に英文を読み、読み取ったことを英語や日本語で表現する。</p> <p>* 語や文の発音やイントネーションに注意して、場面の状況や登場人物の心情を思い浮かべながら音読することができる。</p>	<p>B = 「おおむね満足できると判断される状況」</p>	<p>その当時の状況を思い浮かべながら、話の流れを理解することができる。</p>	<p>その場の状況や登場人物の心情を正確に伝えるように音読することができる。</p>	<p>本文を読み、概要を読み取り、日本語でそれを説明することができる。</p>	<p>本文で述べられている当時の状況が理解できる。</p>
			<p>A = 「十分満足できると判断できる状況」の例</p>	<p>補助教材などから、当時の状況を真剣に受け止め、自分なりの感想を持つことができる。</p>	<p>その場の状況や登場人物の心情に応じて、情感を込めながら正確に音読することができる。</p>	<p>本文を読み、概要をT-F、Q&Aで答えることができる。</p>	<p>本文の背景にある当時の状況が理解できる。</p>
			<p>C = 「努力を要すると判断される状況」の生徒への指導の手だての例</p>	<p>歴史的な視点や世界規模での平和を考える視点など、背景知識を与えながら指導する。</p>	<p>正確に音読できるように、単語の発音やリズムなどを練習させながら段階的に指導する。</p>	<p>各文の中で重要な語や表現を確認し、また、理解する上で大切にすべき文に線を引かせるなどして指導する。</p>	<p>補助資料などを用いて、説明を加え理解を深めさせる。</p>
次	時	主な達成目標	主な学習活動	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	言語や文化についての知識・理解
1	1	資料や本文を基に、当時の状況や原爆の被害を想像することができる。	資料を基に当時の状況を把握する。本文を通して聞く。	本文を目で追いながら、集中して通読を聞くことができる。		本文を聞いて、物語全体のイメージを持つ。	戦争や原爆の話を読み、物語の時代背景が理解できる。
2	8 (本時 3/8)	物語の内容をとらえ、場面や登場人物の心情を思い浮かべながら、それを表現するように音読ができる。	英問英答でことごとを掴み、場面のイメージや心情を読み取る。また、読み取ったことを表現するような音読ができる。	書かれていることごとを掴み、読み取るようとしているか。また、表現読みのための練習に真剣に取り組んでいるか。	場面の状況や心情を読み取り、正確に伝えるように音読ができる。	英問英答に簡単な英語で答え、読み取ったことごとを基に場面や状況、心情を考え日本語で説明できる。	使われている文や表現に注意して、えがかれている心情を理解できる。
3	1	物語を読んで捉えた場面や心情などを基に、作品のテーマや作者の願いを理解することができる。	段落のつながりをとらえ、作品の主題を考える。	物語を基に戦争と平和について、自分なりの視点を持つことができる。	作者の思いやこの物語の主題を日本語で説明できる。		読み取ったことを基に戦争と平和について自分の考えを持つことができる。

3年 英語		単元(題材)名				総時間 10時間扱い	
学習指導要領の指導事項 C(読むこと) イ 書かれた内容を考えながら黙読したり、その内容が表現されるように音読すること。 ウ 物語や説明文などのあらすじや大切な部分を読み取ること。 D(書くこと) イ 聞いたり読んだりしたことについてメモを取ったり、感想や意見などを書いたりすること。							
単元の目標		主な学習活動	評価規準	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	言語や文化についての 知識・理解
**		*	B = 「おおむね満足できると判断される状況」				
			A = 「十分満足できると判断できる状況」の例				
			C = 「努力を要すると判断される状況」の生徒への指導の手だての例				
次	時	主な達成目標	主な学習活動	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	言語や文化についての 知識・理解
1	1						
2	8						
3	1						